

平成30年度 学力向上アクションプラン

清和小 学校

学力調査結果等から見た 学力向上についての課題	課題解決に向けた学校の取組(基礎力の定着、活用力の育成)			本年度の具体的な目標
	授業力向上への取組	学習習慣定着に向けた取組	その他の取組	
<p>○全国学力学習状況調査から見られる課題</p> <p>(1)各教科の状況 国語:基本的な読みとりの力が少し弱い。 算数:図形分野の活用力が不十分。</p> <p>(2)質問紙調査 家で、自分で計画を立てて勉強している児童の割合が少ない。友達の前で自分の考えや意見を発表するのが得意だと答えている児童の割合が少ない。</p> <p>○継続的な基礎型放課後学習支援、週一回と夏休みの活用型学習支援,日々の自主学習の実施により、国語算数とも全国平均を上回る成果があった。ただ、学力二極化の傾向が見られ、どの学年のどの児童もきめ細やかに、確かな学力を習得できるシステムの構築が課題である。</p>	<p>○講師の指導による</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学びを深め合い、伝え合う力を高めるための単元構想と授業設計 ・効果的な話し合い活動 ・学習規律(話す・聞く)指導内容の定着 ・カリキュラムマネジメントの推進 <p>○学団OJTによる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ベテラン、ミドル、若手の「学び合い」の実践交流 	<p>○各学力層に応じた、また、ボリュームゾーンを意識した学習支援の実施(基礎型、活用型)</p> <p>○4・5・6年では算数の少人数指導授業の実施(SS教員による)</p> <p>○活用型問題のプリント学習による家庭学習の定着</p> <p>○全学年、発達段階に応じた家庭学習としての自主学習実施。</p> <p>○スタディプラン活用による、計画学習の定着</p>	<p>○夏休みの活用型学習教室</p> <p>○朝読書の実施</p> <p>○スピーチタイムと清和っこスピーチ広場の実施</p> <p>○小規模校のよさを生かした日常的な異学年交流及び交流時に沢山の友達の前で自分の考えを話す機会を組織的計画的に設ける。</p> <p>○学年の校外学習時等の出発式帰校式を児童自らが司り「話す・聞く・伝える」場を積極的に企てる。</p>	<p>○全国学力学習状況調査</p> <p>(1)平均正答率 国語A国語B・・・全国平均+8ポイント 算数A算数B・・・全国平均+5ポイント</p> <p>(2)質問紙調査 「友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意だ」と答える児童50%以上に。 「授業の中で自分の考えを発表する機会が与えられている」と答える児童85%以上に。 「友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができる」と答える児童90%以上に。 「家で学校の宿題をしている」と答える児童95%以上に。 「家で、自分で計画を立てて勉強している」と答える児童50%以上に。 「読書が好き」と答える児童70%以上に。</p>

校種間連携	活用する支援内容		家庭・地域との連携
	支援内容	具体的内容	
<p>○6年の入学前テストの結果検証。</p> <p>○小中教員による教科研究(外国語)</p> <p>○中学生による生徒会説明会</p> <p>○幼稚園への入学前聞き取り</p> <p>○近隣保育所との合同避難訓練</p> <p>○6年のプレ中学生体験(中学校で中学校の先生から授業を受ける)</p>	<p>(1)放課後学習支援</p> <p>(2)アクティブ・ラーニング推進支援</p> <p>(3)学力定着支援</p> <p>(5)その他</p>	<p>○放課後学習(基礎型支援) (2h×週2×3人+2h×週1×1人)×20週</p> <p>○放課後学習(発展型支援) 2h×週1×20週</p> <p>○夏季休業期間 活用型教室 2h×2人×4回</p> <p>○授業モデル作成(講師招聘)</p> <p>○若手教員指導(講師招聘)</p> <p>○先進校視察(言語活動の充実)</p> <p>○学習支援に係る書籍等の購入により放課後学習、家庭学習、自主学習の充実</p>	<p>○スタディプラン活用による、自主学習・計画学習の定着・発展</p> <p>○スタディプランへの一言感想等、保護者の声かけによる家庭学習の定着・自主学習の充実</p> <p>○家読の実施による読書力向上</p> <p>○校内で実践している「学びを深め合い、伝え合う学習」を、保護者や地域の人に向けて発信・実施</p>